

○オブザーバー（相談窓口コーディネーター）

本来であれば患者か家庭かという選択はあってはならないもの。それでもやはり患者さんを優先する。家族の予定は常に未定だった。家族は患者さんを優先させることには理解してくれていた。子供には小さい頃から辛い思いをさせたが、本当は休みの日はゆっくりできるような病院側の体制作りが必要。

○オブザーバー（相談窓口コーディネーター）

最近は専門医志向の医師が多く、診察の仕方まで変わってきている。医師は症状を診るだけでなく、患者さんを一人の人間としてみることも大事だということを忘れないでほしい。



今後地域医療を支える研修医、医学生たちの意見を聞かせてもらう貴重な時間となった。彼ら自身に進行をまかせ、2つのテーマについて話してもらったが、地域医療の再生への具体的な意見、不安のない方法で地域医療に参画するための戦略が、次々と噴出してきた。地域医療を支えるものは、義務的な体制ではなく、やはり後輩を教育する情熱とそこに

かける若い力という王道であることを改めて感じた。

明日の医療を担う彼らの意見を吸い上げ、実現可能な問題については実行し、行政に提言していくことが北海道医師会の役割であり、今後も、研修医、医学生たちとの意見交換を密にしていきたい。地域医療という重い問題にも臆することなく、果敢に誠実な意見を戦わせる彼らの能力に正直驚いた。

医療問題へのEarly exposureをすすめ、今後も太いパイプをもっていきたい。



日医認定産業医制度研修会開催一覧

◇産業保健部◇

開催日時	開催場所	主なテーマおよび講師	単位数	連絡先
平成25年2月6日（水） 18：30～20：30	旭川グランドホテル （旭川市）	・法規解説 旭川労働基準監督署長 中山 和雄 ・ビデオ研修 「元気な職場をつくるメンタルヘルス」	基礎研修 実地1・後期1 生涯研修 更新1・実地1	旭川市医師会 （0166-23-5728）
平成25年2月13日（水） 18：30～20：30	ホテル日航ノースランド帯広 （帯広市） 定員：50名 （事前に申し込みが必要です）	・職場のメンタルヘルス －産業医の知っておくべき基礎知識－ 札幌心身医療研究所長 久村 正也 ・労働安全衛生法について －工業中毒災害事例による－ 帯広労働基準監督署安全衛生課長 鈴木 力	基礎研修 後期2 生涯研修 更新1・専門1	帯広市医師会 （0155-24-2802）
平成25年3月2日（土） 14：00～17：00 日本産業衛生学会北海道地方会 第16回産業医・産業看護・産業 技術研修会	北海道大学学術交流会館 （札幌市）	・最近の労働衛生行政について 北海道労働局労働基準部健康課長 佐藤 尚 ・職場の災害リスク低減と労働衛生管理 中災防北海道安全衛生サービスセンター所長 池田 和博 ・疫学研究からみた生活習慣と健康 北海道大学大学院医学研究科公衆衛生学分野教授 玉腰 暁子	生涯研修 更新1・専門2	北海道大学環境健康科学 研究教育センター 【日本産業衛生学会北海道 地方会事務局】 （011-706-4746）
平成25年3月11日（月） 18：30～20：30	北海道建設会館 （札幌市） 定員：50名 （事前に申し込みが必要です）	・過重労働と脳心臓疾患の関連について 北海道情報大学医療情報学科教授 佐藤 浩樹 ・過重労働と職場のメンタルヘルスの関連について 北海道産業保健推進センター所長 三宅 浩次	生涯研修 専門2	北海道産業保健 推進センター （011-242-7701）
平成25年3月14日（木） 18：30～20：30	岩見沢平安閣 （岩見沢市） 定員：50名 （事前に申し込みが必要です）	・労働衛生管理体制とその支援体制について 岩見沢労働基準監督署長 息才 正 ・職場におけるメンタルヘルス対策について メンタルヘルス対策支援センター長 桑原 富美恵	基礎研修 生涯研修 更新1・専門1	岩見沢市医師会 （0126-22-5347）

*開催日が太字のものは、本号より新たに掲載されたもので、現在日医認定産業医制度指定研修会として日本医師会に承認申請中です。

注1：新規認定のためには、基礎研修50単位数以上（前期研修14単位数以上、実地研修10単位数以上、後期研修26単位数以上の合計 50単位数以上）の修得が必要です（前期研修については、総論2単位・健康管理2単位・メンタルヘルス対策1単位・健康保持増進1単位・作業環境管理2単位・作業管理2単位・有害業務管理2単位・産業医活動の実際2単位のそれぞれの単位数修得が必須）。

注2：更新認定のためには、認定取得後の5年間に生涯研修20単位数以上（更新研修、実地研修、専門研修各1単位数以上の合計 20単位数以上）の修得が必要です。